豊岡市記者配布資料

年月日	部課名	電話	責任者 （役職名）
2025年 ５月16日（金）	日高振興局 地域振興課	0796-21-9056 （内線5414）	吉田政明 （課長）

（件名）

2024「植村直己冒険賞」授賞式・記念講演会の開催

（内容）

2024「植村直己冒険賞」受賞者の授賞式および記念講演会を次のとおり開催します。（受賞者の発表は、２月12日に行いました）

１　授賞式・記念講演会

⑴　日時
　６月７日（土）午後１時30分～４時
　（開場　午後０時30分）※終了時刻は予定です

⑵　場所
　市立日高文化体育館（日高町祢布954-6）

⑶　受賞者
　吉田勝次さん（58歳　大阪府出身・愛知県在住）
　冒険名：人類未踏の洞窟探検
　※プロフィール、冒険概要などは、別紙のとおり

⑷　概要
　ア　オープニング　府中小学校児童（３、４年生）による合唱
　イ　あいさつ　豊岡市長　門間雄司
　ウ　選考評　選考委員（武蔵野美術大学名誉教授）関野吉晴さん
　エ　冒険賞の授与　メダル、盾および副賞（100万円）
　オ　記念講演　演題『地球上に残された過酷な世界！
　　それは未知未踏！洞窟！』

⑸　その他
　ア　入場無料
　イ　予約不要（会場定員は600人程度　うち一般は100人程度）
　ウ　当日の様子は、インターネットで同時配信を予定

≪植村直己冒険賞≫

本市出身で世界的な冒険家の植村直己さんの精神を継承し、周到に用意された計画に基づき、不撓不屈の精神によって未知の世界を切り拓くとともに、人々に夢と希望そして勇気を与えてくれた創造的な行動（業績）について表彰する（1996年に創設し、今回29回目）。

【歴代の受賞者】

植村直己冒険賞24人・３グループ（２人組）
植村直己冒険賞特別賞３人・２団体

《問合せ》日高振興局地域振興課地域振興係（担当川角）
℡21-9056（内線5414）

小さな世界都市
-Local & Global City-
TOYOOKA

2024 植村直己冒険賞受賞者

分　類：その他　　**冒険状況**：継続　　**個人・団体**：個人

受　賞　者

氏　名　吉田　勝次（よしだ　かつじ）

年　齢　58 歳（1966 年 12 月 19 日生）

出　身　大阪府（愛知県在住）

実施の概要

冒険名　人類未踏の洞窟探検

実施期間　1994 年～

趣　　旨

洞窟探検は、ドキドキやワクワク、感動して楽しい事ばかりではなく「痛い、寒い、苦しい」などこの世の苦のほとんどが洞窟の中にある。そして、登山・クライミング・キャニオニング・ダイビングなど様々な技術が必要とされる難易度の高い探検である。

洞窟探検は、人知れず名もなき山や僻地に行って穴を見つけて入るという活動の繰り返しで、入口を見つけなければ探検は始まらない。また、探検すれば凄い成果が必ず出るものでもない。

「世界最大、世界最深」という記録的な洞窟を発見できる可能性も低く、社会的な意義や評価も低いかもしれない。それでも、何度も命の危険にさらされながらも、未知未踏の世界を解明する魅力に取り憑かれて 30 年以上洞窟を探検している。

冒 険 内 容

2018 年、ラオス現地で情報を得て、世界最大級の可能性のある未踏洞窟の洞口を発見。2019 年に第 1 回目の探検を実施した。

その後、現地での探検許可の取得やコロナ禍終息に時間を要したが、2022 年と 2024 年と併せて計３度の探検を実施した。

2024 年の探検では、過酷な環境下で体調不良に見舞われながらも、未踏部分をケイブダイビングや人工登攀によって突破し、新たに約 550ｍの未踏箇所を発見した。

工夫・独創性

「知られている洞窟でも感動するのに、自分で発見した洞窟ならどれだけ感動するだろうか。」

その思いから、30 年以上、国内・国外、縦穴・横穴・水中問わず、未踏の洞窟を求めて 1 年の３分の１を洞窟探検と準備に費やす。これまでに世界 30 か国 1,000 カ所以上の洞窟に潜っている。

冒険等の経歴

吉田　勝次

洞窟探検家

一般社団法人日本ケイビング連盟会長、(株)地球探検社 代表取締役、

Japan Exploration Team（日本探検チーム、略称 J.E.T）代表

1988 年冬に突然山に登りたくなり、冬山雪上訓練と登攀の指導を受けるが、次第に既に踏破されてルートもほぼ定められた登山に物足りなさを感じるようになる。

1994 年に洞窟探索記事に目を奪われ、洞窟探検に参加。以降、洞窟探検に傾倒していく。

【主な冒険経歴等】

1988 年　日本アルパインガイドの故･長谷川恒男氏より冬山雪上訓練.登攀の指導を受け、登山を始める。

1994 年　浜松ケイビングクラブ（洞窟探検の組織）と出会い、洞窟探検を始める。

1996 年　Japan, Exploration, Team　（日本の探検チーム）を設立

1996 年　岩手県　日本最長の洞窟　安家洞　探検調査

1997 年　日本最長の洞窟　安家洞　砂山連洞（新洞）発見　総延長 23 ㎞

2001年～2016年　三重県　未踏縦穴発見「霧穴」探検開始　延べ50回の探検
2005年　マダガスカル島　未踏洞窟探検
2006年　中国（四川省、貴州省）　未踏洞窟探検・調査
　　重慶市「第硝坑」調査隊（日中合同洞窟調査隊）で未踏洞窟探検
　　深さ－300m下の地底湖で新種のオタマジャクシを発見
2008年　ベトナム・ダクノン省　未踏火山洞窟発見・探検　総延長5㎞
2008年　中国・狭西省・西安・宝鶏風県　未踏洞窟発見・探検　総延長3㎞
2010年　中国　重慶市・武隆　予備調査
2010年　国内　洞窟内の遺体引き揚げ・搬送
2011年1月5日　社団法人日本ケイビング連盟　設立
2011年10月～　黒部渓谷　未踏洞窟探検
2011年11月15日～　中国・重慶市　万丈坑（まんじょうこう）未踏縦穴探検　－715m
　　※未踏洞窟の日本人最深記録。
2011年12月3日～　地域雇用創造促進事業・ケイビングガイド育成　沖永良部島
2012年4月17日～　ベトナム社会主義国　ダクノン省　未踏火山洞窟探検
2012年　ミャンマー　未踏洞窟探検
2013年　メキシコ　ゴロンドリナス洞窟遠征　-400m
2013年　チリ（マドレデディアス島）未踏縦穴探検
2013年　スリランカ　未踏洞窟探検
2013年　中国（四川省）　未踏洞窟探検
2013年　ベトナム社会主義国（ダクノン省）　第三次未踏火山洞窟探検
2014年　イラン　世界最長岩塩洞窟探検　6㎞
2014年　オマーン　未踏洞窟調査
2014年　ベトナム　第四次火山洞窟探検・調査　アジア最大の未踏火山洞窟群発見
2015年　奈良県　未踏地下水脈潜水調査
2015年　岐阜県　未踏地下水脈潜水調査
2016年　ラオス　未踏洞窟探検　2㎞探検
2017年　メキシコ　国際洞窟会議　未踏洞窟探検
2017年　奈良県　未踏地下水脈潜水調査
2017年　ベトナム社会主義国（ダクノン省）　第5次火山洞窟探検
2017年　ラオス（ボーリサム）　未踏洞窟探検（タムナムダンディン洞）
2018年　ラオス（ムアンメット）　未踏洞窟探検（タンパカ洞窟）
2018年　ラオス（バンビエン）　未踏洞窟探検
2018年　キルギス　未踏洞窟探検
2019年　ラオス（バンビエン）　未踏縦穴探検　－420m
2022年　ラオス（ルアンバパーン）　未踏洞窟探検
2023年　南大東島　未踏地下水脈探検
2024年　熊本県球磨村　岩戸洞　未踏地下水脈探検
2024年　岡山県新見市　未踏地下水脈探検
2024年　ラオス（ルアンバパーン）　未踏洞窟探検

関連記事

主な著書
「洞窟ばか」2017年（扶桑社）
「素晴らしき洞窟探検の世界」2017年（筑摩書房）
「洞窟探検家　CAVE EXPLORER」2018年（風濤社）
「オレはどうくつ探検家」2018年（ポプラ社）